

宇宙落語会 in うぶん県+

星空鑑賞会

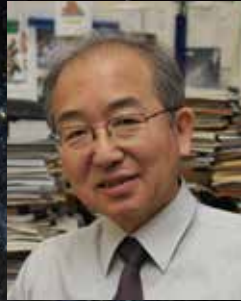
会場：テアトロン
人数：申込先着50名

うどん県で
初の宇宙落語会
みんなまで
おいでまい!!!

日時★2023年9月17日(日)13:30~16:00
場所★源内音楽ホール

一般財団法人花山宇宙文化財団は、京都大学大学院理学研究科附属花山天文台を永く将来にわたって存続させ活用していくための、さまざまな事業を行うことを目的として設立されました。宇宙落語会はその活動の一環で、13年前から落語を通じて宇宙を身近に感じていただこうと、京都をはじめ東京や大阪・神戸で宇宙をテーマにした落語会を開催してきました。

このたび、さぬき市やさぬき市教育委員会のご後援、一般社団法人天体望遠鏡博物館、宇宙落語制作委員会のご協力、一般財団法人多田野奨学会のご協賛を得て、うどん県香川で初めて宇宙落語会を開催します。



京都大学名誉教授
京大附属天文台 元台長
同志社大学特別客員教授
柴田 一成

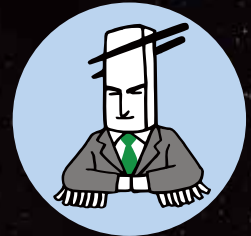


落語家 (京都大学 OB)
桂 福丸



講師
旭堂 小南陵

©ヒダキトモコ



一般社団法人天体望遠鏡博物館代表理事
村山 昇作



星空プロジェクト株式会社代表取締役
星空鑑賞会案内人
福島 福三

日時：9月17日(日) 13:30~16:00 (13:00開場)
会場：源内音楽ホール (予定収容可能人員400人)
〒769-2102 香川県さぬき市鴨庄4610-44
会費：1,000円 (当日のみ・申込不要)・小中高生は無料
出演：旭堂小南陵 (講談「山本一清物語」)
桂福丸 (落語「宇宙落語」他一席)
柴田一成 (京都大学名誉教授・同志社大学特別客員教授)
主催：一般財団法人花山宇宙文化財団
後援：さぬき市・香川県教育委員会・さぬき市教育委員会
協賛：一般財団法人多田野奨学会・株式会社ヒーロー
協力：一般社団法人天体望遠鏡博物館・宇宙落語制作委員会・
星空プロジェクト株式会社

お問い合わせ：「宇宙落語制作委員会」
E-mail: uchurakugo@gmail.com
イベントに関する情報は、以下のURLをご覧ください。
<https://uchu-rakugo.jimdofree.com/>



星空鑑賞会のご案内

宇宙落語会にご参加の中から、事前にお申込の方の先着順に50名さまを「星空鑑賞会」にご招待します。

日時：9月17日(日) 17:30~20:00
会場：さぬき市野外音楽広場テアトロン

星空鑑賞会のお申込は
下記のQRコードから

申込方法：宇宙落語会のHP (星空鑑賞会申込) にご記入の上、送信してください。

<https://uchu-rakugo.jimdofree.com/>

内容は5部構成で、日没鑑賞・三日月鑑賞・トークタイム・
星空 (土星・天の川) 鑑賞タイム・天体望遠鏡タイム

※詳細は、ご招待が決まった50名さまにメールでお知らせ



宇宙落語会 in うぶん県+

星空鑑賞会
会場：テアトロン
人数：申込先着50名

宇宙落語会 in さぬき

●プログラム

13時開場・13時半時開演

ごあいさつ 大山市長・柴田 一成先生

落語会 桂 福丸「古典落語（おたのしみ）」

旭堂 小南陵 「日本アマチュア天文学の父
山本一清物語」

桂 福丸「宇宙落語」

仲入り

講演 柴田 一成

トークショー 村山 昇作（一社）天体望遠鏡博物館代表理事・
柴田 一成・桂福丸

●出演者プロフィール

桂 福丸（かつら ふくまる）

1978年生まれ、神戸市出身。灘中学・灘高校を経て、2001年に京都大学法学部を卒業。卒業後は英語落語を学びアメリカでも公演を行う。2007年2月、四代目桂福団治に入門。「福丸」の名付け親は作家の故・藤本義一氏である。

入門からたった1カ月の同年3月9日に高石アブラホールにて初舞台を踏む。天満天神繁盛亭、寄席クラシックスなどに出演中。2021年より小学生向けの落語会「子どもだけ寄席」を開始。宇宙落語会にレギュラー出演している。

2017年度「文化庁芸術祭大衆芸能部門新人賞」「新進落語家競演会新人奨励賞」「花形演芸大賞銀賞」をトリプル受賞。2021年度「大阪文化祭奨励賞」受賞。

旭堂 小南陵（きょくどう こなんりょう）

講師、声優、ナレーター。大阪府出身。

2001年に旭堂小南陵（現、四代目旭堂南陵）に入門、OL・俳優を経て講師になる。2015年、第70回「文化庁芸術祭賞新人賞（大衆芸能部門）」受賞。2016年11月、五代目旭堂小南陵を襲名。

2020年3月「大阪文化祭奨励賞」受賞。出演作品は、KBS京都ドラマ「京都不思議百物語」、MBSスペシャルドラマ「聖夜想曲」、NHK BSドラマ「地を這う虫」など多数。ラジオでは、「特集1179」「大阪情報箱（BOX）」などのナレーションも数多く担当。2019年の大阪此花区に講談中心の寄席「此花千鳥亭」をオープンさせた。2022年1月1日より此花千鳥亭で「365日千鳥亭」を開始。

柴田 一成（しばた かずなり）

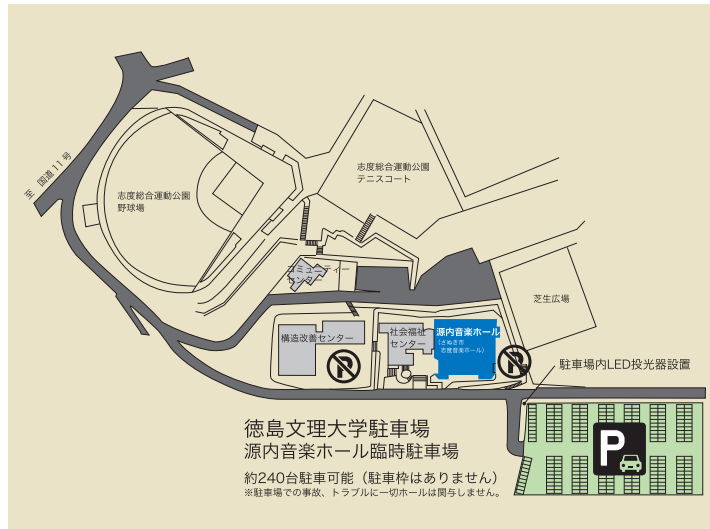
宇宙物理学者・理学博士。京都大学名誉教授（京都大学理学研究科附属天文台元台長）、同志社大学特別客員教授。1954年生まれ、大阪府箕面市生まれ。2004年から2019年まで花山天文台台長、宇宙ユニット長、日本天文学会会長を歴任。太陽と宇宙の爆発現象を電磁流体力学で研究。2001年に日本天文学会林忠二郎賞受賞。そして、2019年に日本人宇宙物理学者としては初のチャンドラセカール賞を受賞。また2020年には、アメリカ天文学会よりジョージ・エラリー・ヘールを受賞。小惑星に「Shibatagakazunari」と命名された。2020年イギリスのロックバンド、クイーンのブライアンメイを花山天文台に招聘、現在は花山宇宙文化財団理事長として花山を東洋のグリニッジ天文台にすることを目指している。

村山 昇作（むらやま しょうさく）

一般社団法人天体望遠鏡博物館 代表理事。同志社大学を卒業後日本銀行に入行。カリフォルニア大学（UCLA）経済学修士を終了した後、日本銀行ニューヨーク事務所エコノミスト。その後、東京大学非常勤講師（計量経済学）を経て、1994年日本銀行 高松支店長、1998年同調査統計局長を勤めた後、2001年日本銀行を退行。帝國製薬（株）代表取締役社長、iPSアカデミアジャパン（株）代表取締役社長、（株）iPSポータル 代表取締役社長を歴任。2010年一般社団法人天体望遠鏡博物館を設立し、現在は代表理事を務めている。

●駐車場のご案内

（徳島文理大学駐車場をご利用ください）



●交通アクセスのご案内

JR志度駅/琴電志度駅からタクシーで約10分（約3km）
乗り合いタクシーをご利用ください。

星空鑑賞会 at テアトロン

●タイムスケジュール（天候によって変動します・雨天中止）

特別企画〈日没夕日観賞〉17時30分～17時50分

日没時間 17時46分

日食グラスを使った安全な太陽観察を予定：星空プロダクト用意

序章企画〈三日月観賞〉17時50分～18時20分

方角で見えない場合あり

天体望遠鏡・双眼鏡を使用した観賞タイム

三日月が見えない場合は別プログラムを用意

〈夜のとぼりトークタイム〉18時20分～18時50分

柴田一成先生・桂福丸

〈星空観賞タイム〉19時00分～19時20分

天の川や土星が見える

ガイド案内で天の川・夏の星座・大三角などを観賞

カウントダウンで全照明を落として観賞タイムスタート

〈天体望遠鏡タイム〉19時20分～19時50分

土星観察：土星が東の空に現れます

夏の星空観察：ベガ・アルタイル・二重星など

終了予定：20時00分

※宇宙落語会終了後、参加者は源内音楽ホール玄関前に集合し、テアトロンまで手配のバスで移動。星空鑑賞会終了後は、同バスで源内音楽ホール駐車場まで送り、解散。

●星空鑑賞会案内人プロフィール

福島 福三（ふくしま ふくそう）

光学機メーカー株式会社ピクセン 元取締役新規事業営業部部長（2022年3月退社）。2022年5月、星空を創造する会社、星空プロダクト株式会社を設立、代表取締役。株式会社ピクセンとタイアップして、日本一の星空で有名な長野県阿智村で通年開催されている天空の楽園ナイトツアー会場の富士見台高原ロープウェイ ヘブンスそのはらにて、天体望遠鏡を使って惑星や月面など観察する「夏休み星空観察ミッション」を企画、実施。その他全国で星を見せるさまざまな仕事や各地を巡り星空の取組みを発信している。